



服部文庫
417
2189
76



勅旨

明治四年辛未七月制定スル所官省ノ
位置職負ノ權限各其序ヲ得ルト虽モ
当今ノ時勢現務上ニ於テ或ハ其弊ナキ
能ハス故ニ太政官ノ職制章程ヲ潤飾
ス百官其レ之ヲ奉承セヨ

明治六年五月二日



太政官職制

天皇陛下親臨

正院

太政大臣

一頁

天皇陛下ヲ輔弼シ萬機ヲ統理スル事
ヲ掌ル

諸上書ヲ奏聞シテ制可裁印ヲ鈐ス
左右大臣

職掌太政大臣ニ並リ太政大臣欽席并ハ
其事務ヲ代理スルヲ得ル
參議

内閣ノ議官ニシテ諸機務議判ノ事ヲ掌ル
以上三職トス

大内史

諸機務ノ文書法案ヲ勘査シ國史ヲ修メ
官記位記等ノ事ヲ掌ル

權太内史

職掌大内史ニ目シ

少内史

機務ノ文案ヲ草シ官記位記ヲ造リ記録
ノ事ヲ掌ル

權少内史

職掌少内史ニ目シ

大外史

文書記録傳達受付官中用度等事ヲ掌

權大外史

職掌大外史ニ同シ

少外史

文書法案記録亦ノ事ヲ掌ル

權少外史

職掌少外史ニ同シ

大主記

權大主記

中主記

權中記

少主記

權少主記

各課又分テ官中書記計算其他ノ事
務ヲ服ス

内史所管七課一乃ヲ單キ各其事務ヲ處ス

其課長局長奏任以上官之專任又兼任

履歷課

監部課

財務課

法制課

庶務課

歷史課

地誌課

翻譯局

外史所管三課二局之置其各其事務之履_不其課長局長奏任以上官之專任又兼任

記錄課

用度課

印書局

博覽會事務局

式部寮

頭

寮中諸官員首長ニテ式禮祭祀一切事務ヲ管理スル事ヲ掌ル

寮中諸官員處務ヲ指令シ各課事ヲ統督ス

寮中諸般事務章程成規ニ照シテ之ヲ踐行整理シ三職對シ其擔保ノ責ニ任ス

掌管ノ事務ニ於テハ三職ニ對シ其當否ヲ辨明スルヲ得ル

各課ヲ發立シ及寮中ノ諸規則ヲ更正スル等ノ事アルハ正院ノ決裁ヲ乞フテ之ヲ處置ス

寮中諸官員能否勤惰ヲ監視シテ之ヲ進退黜陟スルト其員ヲ増減スルホハ審按具狀シテ正院ノ決裁ヲ乞フ

權頭

職掌頭ニ曰シ

助

寮中各課長トナリ其事務ヲ擔當スルヲ掌ル
各掌管ノ事務ヲ整理スルニ於テ頭權頭ニ
對シテ其責ニ任ス

權助

職掌助ニ曰シ

大掌典

祭事神饌ヲ掌ル

大属

中掌典

權大属

少掌典

中属

權中属

大神部

大舍人番長

大伶人

少属

中神部

大舍人

中伶人

權少属

少神部

權大舍人

少伶人

各課ヲ分テ寮中諸般ノ事務ヲ處ス

左院

職制章程追テ定ムヘシ

右院

各省長官次官

各当務實際ノ可否ヲ議スルヲ掌ル

勅命ヲ以テ臨時之ヲ開ク

大政官

正院事務章程

正院ハ

天皇陛下臨御シテ万機ヲ総判シ太政大臣
左右大臣之ヲ輔弼シ參議之ヲ議判シテ庶
政ヲ奨督スル所ナリ

大政大臣左右大臣ハ各一員ヲ限り參議ハ定
員ナシ

凡の立法事務ハ本院特權ヲシテ總テ内閣
議官ノ議判ニヨリテ其得失緩急ヲ審察シ行
政實際ニ附スヘキモノ奏書ニ允裁ノ鈐印ヲナシ
然ル後主任ニ下達シテ之ヲ處分セシム
凡の允裁ヲ乞フ奏書ハ内閣議官議判ヲ上
内史其部類ヲ分々之ヲ本帖及副本ニ寫シ本
帖ニ議官之ヲ連印シ内史之ニ記名シ之ヲ太政
大臣ニ出ス太政大臣之ヲ鈐印シテ御批允裁ヲ

受ケ之ヲ外史ニ付シテ奉行セシム

但内閣ノ議決スルハ即日本文ノ手續ヲナシ御
批允裁ヲ經テ翌日之ヲ頒布スルヲ恒例トス

凡の帝國一般ニ布告スル制度條例及勅旨特例
ノ事件ハ太政大臣名ヲ以テ本院ヨリ之ヲ發令
ス

諸省使寮司局ノ廢立分令ニ行政事務取
捨便宜ヲ謀リ緩急ヲ判スル皆本院ノ特

權タリ

勅書奏書ニ加名鈴印スル太政大臣ノ任タル

ハシ

凡ソ勅任官ノ薦挙免黜ハ

宸断ニ出ルト云凡必ス内閣議官ニ諮リ太政大臣之ヲ補賛シテ迫退ス

凡ソ奏任官ノ進退ハ其所轄ノ奏聞ニヨルト雖モ必ス内閣議官ニ諮リ太政大臣之ヲ所置ス

本院中判任官ノ進退ハ其所轄ノ具狀ヲ傳内史ヲシテ之ヲ處置セシム

凡ソ裁判上重大ノ訟獄アルハ内閣議官其事ヲ審議シ或ハ臨時裁判所ニ出席シテ之ヲ監視スル事アルヘシ

議政行政ニ屬スル諸文書法案文ハ勅書令條差除點涉ノ記録等ハ内史ニ付シテ司掌セシム

恒例ノ公文既發ノ命令通常ノ達書等外
史ニ付シテ司掌セシム

内外史所屬ノ各局課式部寮等ノ事務ハ各
其主任ヲシテ之ヲ管理セシム

本院中專掌スル事務ノ條款左ノ如シ

第一款

帝國經理事業ノ緩急ヲ考勘シ之カ目的ヲ
定ムル事

第二款

諸制度諸法律及諸規則ヲ草案シ之ヲ議
決スル事

第三款

賞罰ノ事

第四款

歳入ノ事

既定ノ諸租税ノ増減變更スル事

新ニ諸租税ヲ興ス事

第五款

歳出ノ事

諸官省各局各地方官公費ノ額ヲ定

ムル事

諸官祿及旅費其他雜費ノ制限ヲ定

ムル事

諸族ノ秩祿及社寺給與ノ制限ヲ定

ムル事

臨時諸費ノ制限ヲ定ムル事

非常ノ軍費及國費ヲ裁定スル事

第六款

貨幣製造ノ方法及其品量ヲ定ムル事

第七款

金券ヲ發行スル事

第八款

内外國債ノ事

第九款

度量衡等ヲ改正スル事

第十款

州郡ノ経界ヲ畫定シ及府縣ノ制置土地ノ
名稱等ヲ更正スル事

第十一款

諸卷津ノ開閉スル事

第十二款

郵便運輸ノ法及郵便規則ヲ改テ道路ヲ變
換シ里程ヲ改正スル事

第十三款

地方警察ノ規則ヲ定メ或ハ之ヲ變革スル事

第十四款

鐵道電信ノ行線燈臺設置ノ場所ヲ定

ムル事

第十五款

兵制ヲ改革スル事

第十六款

兵員ヲ増減スル事

第十七款

鎮台兵營及提督府等ヲ變更スル事

第十八款

城壘武庫等ヲ築造スル事

第十九款

裁判所ノ推限ヲ定ムル事

第二十款

各國條約ノ事

第二十一款

官員ヲ増減スル事

内閣ノ

天皇陛下参議ニ特任シテ諸立法事及行政
事務ノ當否ヲ議判セシメ凡百施政ノ機軸タル
所タリ

内閣ノ職責ハ各地方監察按撫布政等ノ故ヲ
以テ特命派出シ各部ヲ巡回スルヲアルヘシ
凡ノ行政實際ニ涉ル事項ハ必久其便否得失
ヲ主任ノ長官ヲ呼ビ之ニ諮問シテ後大政大臣
ニ出スヘシ

當病不參者之ハ回議ヲ其部ニ送リ其所見ヲ
取ルヘシ

御 批

右職制事務章程

上裁欽定スル所ナク能ク之ヲ守リ其程限
ヲ愆ル勿レ

明治六年五月廿日 奉勅大政大臣三條實美

